

幹事会

【新設】

科学的助言等
対応委員会

【目的】

科学者の代表機関として、人文・社会科学、生命科学、理学・工学の学術全分野にまたがる分野横断的な観点から、中長期的視点・俯瞰的視野に立ち、説得力ある科学的助言を行う。

【主な見直し内容】

- 「科学的助言等対応委員会」を設置。課題設定から査読・公表まで、科学的助言活動の全体を把握・分科会等の連携促進。
- 「提言」を委員会・分科会名での発出から、学術会議名での発出に変更
※総合的・俯瞰的な見地から、政府や広く社会に向けた提案を発表。内部審査手続を厳格化（課題設定段階での確認、査読手続の強化）
- 委員会・分科会名による意思の表出として「見解」を新設
※専門的見地から提案を発表するもの、社会的な議論を喚起するため多様な意見を提示するものとし、意思決定手続を迅速化
- 「提言」や「見解」として満たすべき事項*の明確化
*学協会等で代替可能ではないか、読者・名宛人を明確にして立案しているか、関係機関等との意見交換の場を設けているか 等
- 課題設定や科学的助言の作成過程における意見交換の実施（学協会、政策関係者、産業界、NGO・NPO等）
- 査読体制・手続の整備

【科学的助言等対応委員会の概要】

○任務

- ・意思の表出*の案に対する助言
* 勧告、答申、要望、声明、提言、回答、見解、報告
- ・勧告、答申、要望、声明、提言、回答の案の査読
- ・見解、報告（一部）の承認
- ・意思の表出の事後的な評価の受領

○構成員

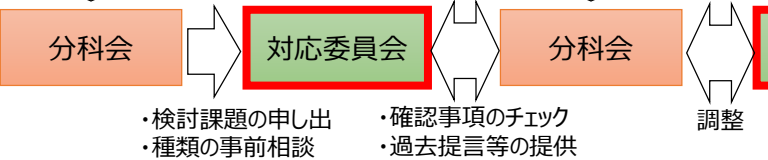
- ・副会長（委員長）
- ・各部の副部長
- ・各部の幹事
- ・各部（会員及び連携会員）から3名

分野別委員会分科会における審議の結果を意思の表出として公表する場合

意思の表出の発出を行う場合
(分科会として見解又は報告の発出を決定している場合を除く)

部、分野別委員会

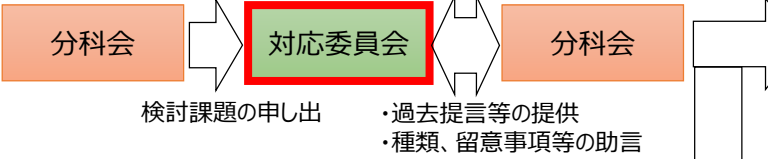
相談調整



意思の表出の発出を行う場合
(分科会として見解又は報告の発出を決定している場合)

部、分野別委員会

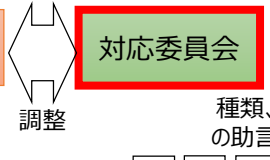
相談調整



部、分野別委員会

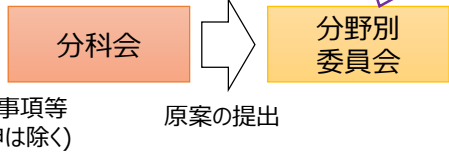
相談調整

骨子(概要)の提出



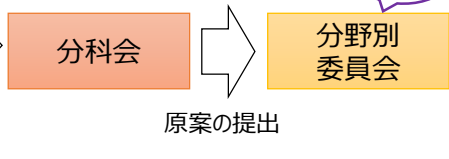
勧告、答申、要望、声明

査読



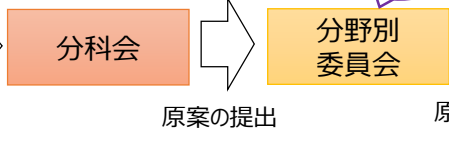
提言、回答

査読



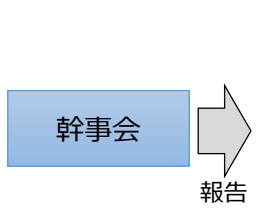
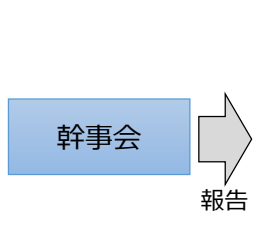
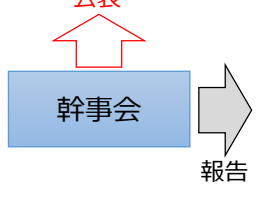
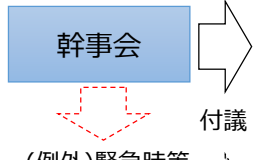
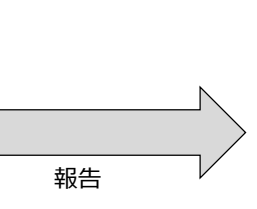
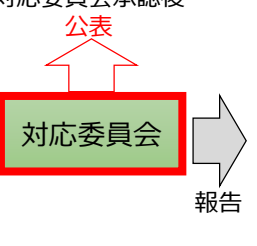
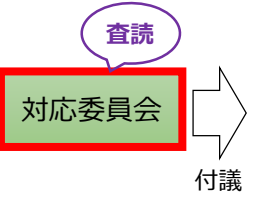
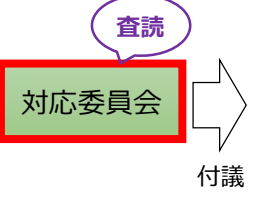
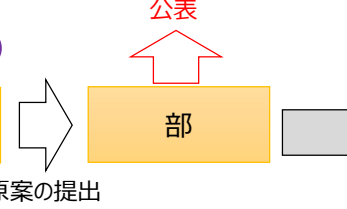
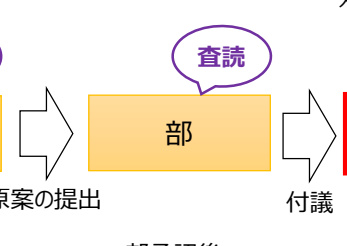
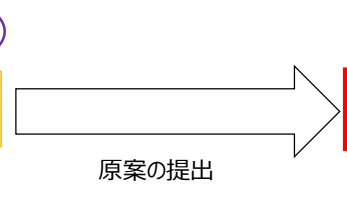
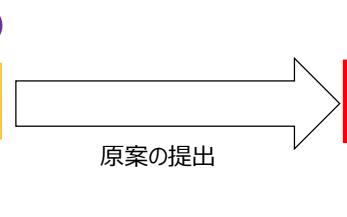
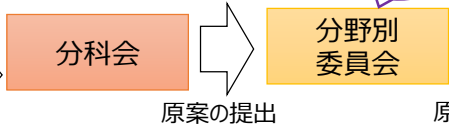
見解

査読



報告

査読



(原則) 総会承認後 公表



(参考：意思の表出を発出する場合のフローチャート)

※本資料において、「対応委員会」とあるのは、科学的助言等対応委員会を指す。